

## 総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成29年8月18日 午後1時31分
- 2 閉 会 平成29年8月18日 午前3時 6分
- 3 場 所 総社市役所2階 会議室
- 4 出席又は欠席した委員

### 出席委員

教育長	山 中 榮 輔
教育長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	林 直 人
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁

### 欠席委員

委 員	小鍛治 一 圭
-----	---------

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	西 村 佳 子
生涯学習課長	横 田 優 子
文化課長	永 田 忠 幸
庶務課課長補佐	岩 佐 知 美

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	上 岡 仁
---------	-------

- 7 付議事件

議案第18号	平成29年度総社市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第19号	総社市はばたき園基金条例の制定について	原案可決
議案第20号	平成30年度使用特別支援学級教科用図書の採択について	原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

【開 会】 午後1時31分

**山中教育長** ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には議案3件が付議されておりますが、議案第20号については、議事の都合により、本日の日程の最後に審議したいと思いますので、ご了承願います。

ではまず、会議録署名委員についてであります。会議録署名委員は会議規則第16条の規定により私の他に出席委員中、上岡委員にお願いいたします。

**山中教育長** では、議案第18号「平成29年度総社市一般会計補正予算（第2号）について」事務局から説明願います。

**各課長** 【事務局説明】

**山中教育長** ただいま事務局から説明がありました議案第18号について質問はありませんか。

【質疑なし】

**山中教育長** それではお諮りいたします。議案第18号について原案のとおり可決してよろしいか。

（異議なし）

**山中教育長** ご異議がないようですので、議案第18号については可決しました。

**山中教育長** 続きまして、議案第19号「総社市はばたき園基金条例の制定について」事務局から説明願います。

**西村こども夢づくり課長** 【事務局説明】

**山中教育長** ただいま事務局から説明がありました議案第19号について質問はありませんか。

【質疑・答弁】

**上岡委員** 今、どれくらいあるのですか。

**西村こども夢づくり課長** 今度基金として積み立てる額としましては、先ほど補正予算にも出させていただいております2億2378万円を、指定寄附金として総社市に寄附したいということです。

**米谷委員** 基金の使用用途について、「はばたき園以外に本市における障がい者(児)にも…」というところについて、例えばどういうことがありますか。

**西村こども夢づくり課長** 色々な事業が考えられると思いますが、本市の福祉王国として色々な事業をしている中で、その中のものについて財源を充てたいと思っております。例えば、子どもたちが大きくなった時の千人雇用でございますとか、そういったことも考えられると思いますし、今後も色々な使い道について考えていきたいと思っております。

**山中教育長** 他にご質問はありませんか。

ではお諮りいたします。議案第19号について原案のとおり可決してよろしいか。

（異議なし）

**山中教育長** ご異議がないようですので、議案第19号については可決しました。

**山中教育長** 次は、私からの報告に移ります。

昨日で「ガラス張り公開市長室」が終わりました。昨日は、総社小学校の建替のときにエ

アコンがほしいということと、もう少し具体的なスケジュールを開示して欲しいというご意見があり、それについては8月の終わりから9月にかけて開示したいと思います。

7月28日に岡山教育事務所と市町村の教育委員会で懇談会をしまして、その中で色々とお話があったんですが、「先生方の働き方について」、「時間外労働を減らす」ということ、もう1つは「若手教員の育成」です。岡山県の小・中学校の先生の倍率がだんだん下がっていると聞きました。ベテランの先生方が「若手の育成をしないといけない」と言っておりました。もう1点は、65歳以降でないと年金が出ないので、それまで雇用していかないといけない。この3つの柱が大きいことでした。どれもこれから考えていかないといけない問題です。

お盆閉庁が大分増えてきて、本市は8月14日と15日を閉庁として、11日から5連休でかなりの人が休みをとられたと思います。教育委員会も何人か休んでいました。

来週月曜日から8月定例市議会が始まりますけれども、市議会議員選挙の関係で前倒しになって早まっています。以上です。

**山中教育長** 次に、報告事項に移ります。

「子ども・子育て会議について」事務局から説明願います。

**西村こども夢づくり課長** 【事務局説明】

**山中教育長** ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

**林委員** 放課後児童クラブの支援員の賃金はどれくらいですか。

**西村こども夢づくり課長** 支援員の賃金は大体時給で支払われており、750円～1000円くらいの間で、各放課後児童クラブによって賃金が少しずつ違っており、職種についても主任さんとプラスαとなりまして、補助員さんであるとか、人によって少し金額が違うようになっております。

**林委員** 賃金の改善ではどのくらい増やすのですか。

**西村こども夢づくり課長** 全体で1つのクラブに最高で150万円程度で、それを1人で受取るという形ではなくて、何人かで分けて構わないということになっています。

**上岡委員** 関連ですが、クラブによって時間給が違うんですね、それは支払う保護者負担の金額が違うということもあるんですね。その辺を、統一まではいかなくても、クラブによって型が違っていたらモチベーションも下がるでしょうし、クラブによって生徒指導であるとか問題が難しい部分もあるのだと思うのですが、ある程度そこら辺の均一感や公平性を保てるような対策は何か考えられていますか？

**西村こども夢づくり課長** 放課後児童クラブで運営委員さんの会議や主任さんの会議を開いておまして、その中で、各クラブの賃金でありますとか負担金でありますとかは開示させてもらってまして、その中で総社市としてはこれくらいを標準とさせていただくという形でお示しした中で、それに近づけていただきたいという話はさせていただいています。支援員さんにもよりますが、扶養の範囲内で働きたいという方もおられたり、保険に入りたい方や入りたくない方と色々でして、そこら辺の部分を詳しく話を聞いて調整していかないといけないと思います。

**山中教育長** 総社市としてのガイドラインがないんです。スタートした時にきちんとしたルールを作っておけば良かったんでしょうけれど、他市できちんとやっている市はたくさんあ

るんですが、なかなか見ないのでガイドラインを示したんですが、それぞれの事情が違うので、なかなか強制力はないです。

**上岡委員** 私も総社小学校にいた時に運営委員をしていたので、支援員さんを確保するのも確かに大変でした。それこそ辞める方もおられるので、総社小学校では欠席をすることによって定員を何とかクリアしていました。それを見ていたら、何とかしないといけないと思っていたんですけども、支援員さんの確保が一番だと思います。強制力がなくても、何か良い方法があればと思うのですが。

**山中教育長** 各クラブごとにルールが違っていて、例えばボーナスが出ないところもあれば、出るところもありますし、徐々にやっていかないといけないですが、そういうところまで統一というのは難しいです。

**上岡委員** 「子ども・子育て会議」で、17ページの保育所関係のところ、保育士の離職防止のことなんですが、県の窓口がありますよね、実は1ヶ月ほど前にその方と話をしたんですが、「しっかりと夢や希望を持たせて保育現場に出させてください」と失礼なことを言われました。それはやっていますよという話なのですが、いくら夢や希望を持ってもなぜ5年とか数年で折れてしまうのか、ここを考えて欲しいと思ったのですが。はっきり言ってきつい仕事です。そのわりに対価といいますか、お金が全てではないのですが、折れてしまうんですね。辞めた子は、他のアパレルや化粧品とか病院関係とか、保育士を持っているので福祉関係には行けるんですけども、結局そうなるんですね。それはどこかの自治体だけで考えることではないんでしょうけれども、もう少し、新卒の保育士をサポートする何かがあれば。厳しいことは言われるんですが、20歳や21歳の子達なので褒めてやらないといけないんですね。叱られるばかりではどうにもならないんですね。結構上下関係が厳しくて、やめる理由の1番がそれなんです。そこのところを暖かく見守って欲しいなと思います。私の大学はそうです。

2番目は、「自分のやりたいことがある」とか「お金のこと」とか「結婚のこと」とかになるんですが、1番は「職場の人間関係」なんですよ。お金がかからないところで一番大切なところなので、人を育てる1番の基盤になるところなので、ここはそれぞれの保育所で考えていってほしいなと思います。私たちからは言えませんが、どこか行政から言っていただきたいなと思います。

**西村こども夢づくり課長** ありがとうございます。本当に離職というのが問題になってきておりました、女性の職場ということもありまして、人間関係はもちろん、結婚・出産などで辞められる方も多いです。前も少しお話をしたかと思いますが、市内の民間保育所のほうでアンケートを実施させていただいております。その結果につきましても教育委員会や保育所のほうにもお返しをさせていただいて、今後どのようにしていかないといけないのか考えていこうと思いますので、またそれにつきましても結果が出ましたらご説明させていただきますので、よろしくをお願いします。

**三宅委員** 職場の中の人間関係だけでなく、保護者との関係ですごく消耗すると前に聞きました。

**西村こども夢づくり課長** アンケートにも入れておりますが、保護者等のことで辛い思いを

してということもあるかと思えます。そのあたりの対応の仕方も研修ができると思えますし、先輩方が教えてくださるということもあると思えますが、色んな悩みを共有してどのようにしたら良いかと同じ方向に向かって考えていかないと、解決は難しいかもしれませんが、話をしていかなないと良くなっていかないと思っております。

**米谷委員** 同じ「子育て会議」の19ページのところで、例えば朝8時から預かり保育を受け入れるとなると、職員はフレックスに移行して対応するということですか。

**西村こども夢づくり課長** 臨時職員という訳にはいかないのです、正規の職員が時間外対応という形で考えております。人の確保ということも難しいので、まず1園で、一番需要がありそうな園を対象に、学区外という形で必要な方はそちらに行くという形でやっていきたいと思っております。正規職員につきましては時間外対応という形でさせていただこうと思っております。

**米谷委員** 預かり保育と0歳児から2歳児までの保育園とのつなぎというか、一貫性を作るためには、例えば、子どもが2人いた場合別々の園だと大変だからという問題もあり、上手いつなぎ方があれば預けるのに対応がしやすいのではないかと思います。感想です。やりながら問題が生じた中で対応を考えていくということの良いと思えます。

**林委員** 預かり保育で早朝8時からということで、普通は幼稚園は8時30分～50分に来てくださいというところで、保育が30分早くなった分の保育料は出るんですか。

**西村こども夢づくり課長** 預かり保育の検討委員会を作っておりまして、そこで話し合いまして、もちろんその時間につきましては、対価ということで頂くということになりました。金額についてはまたお示しします。

**三宅委員** 病児保育のほうも30分早くなりましたら、その分きちんといただいております。2歳以下の子どもは保育園で、3歳からは幼稚園で預かり保育を利用している人は何人か知っているんですが、別に困った様子はないようです。

**西村こども夢づくり課長** 窓口でお話を聞く中で、丁寧にご説明をさせていただくようにしております、1人が保育園で1人が預かりでという場合は、ご理解をいただいて通っていただいておりますが、その後、困ったというようなお話は今のところ聞いておりませんので、そういう形が総社市で出来上がりつつあるのかなと思えます。

**林委員** 幼稚園等については学校訪問とかで指導ができますが、夢づくり課の担当者は、私立のほうの保育所の指導体制というのはどういうふうになっていますか。

**西村こども夢づくり課長** 一般的な指導につきましては、私立と公立は分かれて指導するという形になっております。指導主事的な者は、民間保育所に保育に関することを直接指導するということはしていません。ただ、支援を必要とするお子さんにつきましては、うちのほうで特別支援教育アドバイザーを派遣したり、うちの職員と学校教育課の先生が一緒に行くということもしますし、そこで色々な助言などしているところでございます。一般的な保育につきましては、「こうして欲しい」というようなことはしておらず、やっていることと言えば、保育所と幼稚園の全員を集めまして研修会をしております。夕方以降でない先生方が研修に来れないということで、去年から、1年に2回ほど研修をさせていただいております、その中で勉強をしていただけたらと思えます。

**林委員** 同じではあるのですが、その内容はまったくブラックボックスなんですよね。そこ

がどうなのかなと思います。先ほどの人間関係もそうではありますが、難しいかなと思います。  
**上岡委員** 大雑把な私の感覚ですが、私立の保育所が悪いということではないのですが、保育士の確保ということで、質よりは量というのが現実だと思います。辞めたら補充するというその繰り返しなんですよ。浄化機能がないといいますか。言ったら悪いのですが。そういうところは私の大学でもブラックリストなのですが、こっちも学生を送り出さないといけないので入れますけれど、どこかで歯止めをかけないとどうしようもないんですよ。せっかく総社市は教育委員会で両方持ってくださいるので、指導までいかななくても、中身の質の部分を書いていただくことが必要ではないのかなと思います。

ある総社市の園長先生が私の大学に来てくださって、「幼稚園の先生と研修をしたらすごく刺激になる」と言っていました。その先生は教育に関してはプライドを持っており、勉強もしておりますが、保育士はそこまでいっていないという部分で、そういう面に関しては有難いと言っていました。なら、自分とその園で自主研修が出来るかということ、それはなかなか難しいのではないかなと思います。どこかの部分で「ここはこうしたほうが良い」と強制的に言っていただくことも必要かなと思います。なかなか難しいでしょうけど。

**山中教育長** 経営権があるのは民間の場合はその事業者ですから、それはかなり難しいです。利益追求の部分が多い方はごくわずかですが、一緒に研修をして、全員を絡めて進めていくしかないんですよ。中学校区での研修も今、小学校・中学校・幼稚園・保育所まで入っています。やっとそういう方向になってきて、意識のある園長先生もおられますが、まだ時間がかかると思います。

**林委員** かつて清音幼稚園を作った時に、幼稚園の教育と保育園の保育を合わせて、良い所を見習ってレベルアップしたと聞いております。幼稚園というシステムは、両方の教育を覆うのは質を上げるというような感じの役割も果たしているのかなと。そういう事を思ったときに、幼稚園と私立の保育園との先生方の研修を市としては積極的に進めて、刺激を与えるというのは、良い方向性ではないかなと思います。

**山中教育長** 少しずつ、我々も介入はしています。

**米谷委員** 放課後こども教室のところで、池田小学校区は凄いですね。週5日も平均して18人もおられるというのは。国のほうの政策でも児童クラブの子供たちにも全て同じようにしていきたいという随分将来的なことではあるとは思いますが、やはりこども教室の内容をやることで、4年生になっても安心していることが出来るようなシステム作りで並行してやっていただければ「育ち」に影響があるのではないかなと思います。5日やるというのは凄なことだと思います。

**山中教育長** 続きまして、「教育委員の行政視察について」事務局から説明願います。

**弓取庶務課長** 【事務局説明】

**山中教育長** 事務局からの説明に対しましてご意見がありましたらお願いします。

**上岡委員** 僕も高知に行きたいなと思っておりました。今年から養成校のテキストが変わっているんですが、その中に高知のアプローチとスタートカリキュラムのことが出ていますよね。大阪市と高知は出ているので、本は読んだんですけど、実際に見て説明を聞いてみたいかなと思いました。

**林委員** 高知県そのものは、学力的にあまり高くなかったんですが、ぐーんと伸びましたよね。かなりお金をかけたと聞きましたが、どのような施策をしたのかなど。これは県全体なんでしょうけれども、一自治体などでも参考までにお話を聞けたらなと思いました。

**山中教育長** 高知県の学力が上がったのは5年くらい前ですが、高知市が大体全体の半分なんです。そこに集中的にお金をかけています。高知市は、公立と私立では私立の方が高いんですね。公立にあまり行かない。そういうのもあって、行政がかなりてこ入れして、それであれだけになりました。その波及効果が全体に出ています。

**米谷委員** 高知県江南市の「絵金蔵」、地域密着型というのは、地域の方々がその管理・運営をしているということですか？

**永田文化課長** 公立ではありますが、元々、絵師が現れて屏風みたいなのを毎年飾る時期があって、それから地元の要望で作ったと、そういう経緯があります。

**米谷委員** 私としては興味がありますね。

**山中教育長** 近いですし、この2つでよろしいでしょうか。

(異議なし)

**山中教育長** それでは、これで決定いたします。

**山中教育長** 他に報告事項はありますか。

**北川学校教育課長** 【8月8日から10日まで、市内の中学校の代表生徒17名と引率教員2名、市長、秘書の合計22名での仙台市訪問の報告をした。】

**服部教育部長** 先ほど、教育長の報告にもございましたけれども、毎年この時期にガラス張り公開市長室を計7か所開催し、昨晚の福祉センターで最後になりました。色んな分野でのご質問がありました。教育関係としては、総社小学校の改築の工程・エアコンの件でPTAの役員さんがいらしてくださいましたし、他には保育所の公立維持をして欲しいということとか、これに関しては意味合いが少し分からなかったのですが、古墳関係では、作山古墳の管理と活用をもう少し考えたかどうかということでした。また、清音地区にも歴史広場という古墳を利用した小さな公園があるのですが、これの後ろにある三因の古墳に関しても声がありました。他には、池田分館のトイレの件もございまして、放課後こども教室で利用しているところがございますので、早速補正予算でやらせていただこうかなと思いました。対応できるものにつきましては、なるべく早く対応させていただきますし、ご意見としていただく部分も非常に多いですけれども、全体として教育に興味を持っていただいているなと思いました。

**山中教育長** 他に何か報告事項はありますか。よろしいでしょうか。

**山中教育長** それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、9月25日午後3時から開催いたしますのでご参集願います。

**山中教育長** この際、10月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思いますが、事務局から提案願います。

(10月の教育委員会の日程調整)

**山中教育長** では10月の教育委員会は、10月31日午前9時30分から開催いたします。それでは最後になりましたが、議案第20号「平成30年度使用特別支援学級教科用図書

の採択について」ですが、本件につきましては、教科用図書に関わる議案であり案件の内容から非公開とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

では、本件の内容は非公開といたします。

**【非公開審議】**

では、これで審議が全て終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

**【閉 会】**

閉会 午後3時6分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員